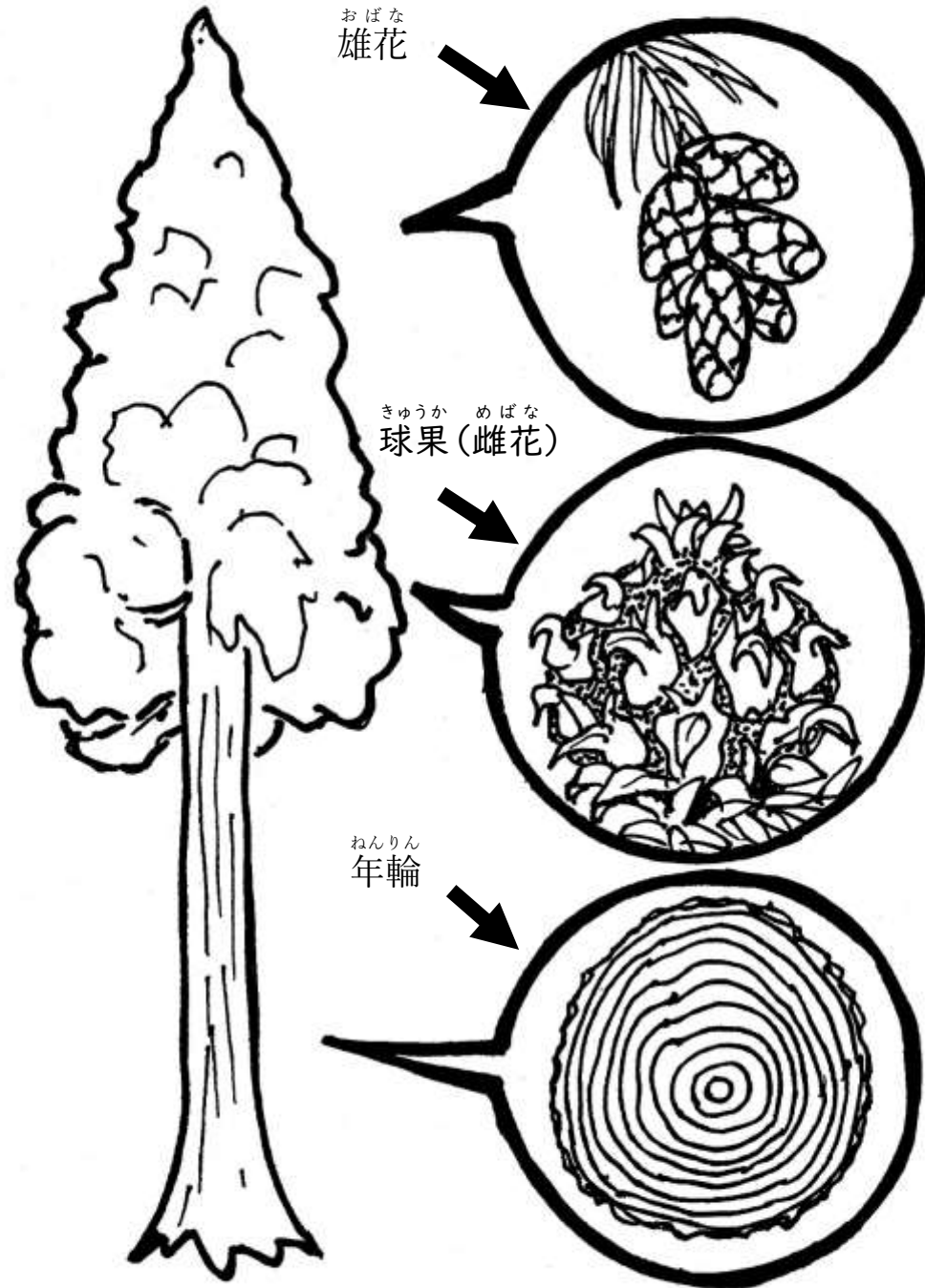


川上村の木



スギ (学名 *Cryptomeria japonica*)

ヒノキ科スギ亜科の常緑針葉樹で日本固有種です。

川上村では、今から約520年前、春日山(奈良市)や三輪山(桜井市)に自生の天然スギを移植し、人工造林がはじまりました。

それまでの林業は原生林の木を伐りつくすだけで、どんどん自然をこわしていきました。川上村では、日本ではじめて持続可能な木材生産がはじまったのです。その後、造林技術は、黒滝村や吉野町などに伝わり、吉野川上流域に吉野林業が発達しました。江戸期には灘(神戸市)から江戸(東京)にお酒を運ぶための酒樽用に適したスギが生産されるようになりました。その材は丸くまっすぐで、年輪幅が狭く、節が無く、色も良いことから、高く評価され、「吉野杉」の名で高級ブランド材として流通しています。

学名の属名 *Cryptomeria* は *Crypto* (隠す) + *meria* (財産・部分) で「隠れた財産、隠れた部分」の意味。種小名の *japonica* は「日本の」の意味。まさに川上村の隠れた宝物です。